

## 学会参加奨励金報告書

学籍番号：R23-028

名前：岸 玲緒奈

学会名：第65回日本核医学学会学術総会・第45回日本核医学技術学会総会学術大会

開催場所：京都市勧業館 みやこめっせ

開催期間：2025年11月13日（木）～15日（土）

発表セッション名：なし

発表形態：なし

発表日時：なし

### 1. 発表の概要

なし

### 2. 質疑応答内容 他

なし

### 3. 関連発表の内容

なし

### 4. 学会参加・発表の感想

※①800～1,200 文字以上

②参加のみの場合は、400字～500字

今回の学会参加では、特に今勢いのある核医学治療の最先端に触れた。2日間を通して、学問としての医学が社会に適応され医療となる、その工程の一端をこのような学会が担っていることを実感した。

卒後教育プログラムのセッションを受けた際には、核医学検査の基礎から、現在臨床で注目されている、セラノスティクスといった発展形まで、学生である私たちにもわかりやすく説明されていた。初日には基礎や流行を押さえていたおかげで、それ以降のセッションについても理解しやすくなった。

また、光華女子高校生さんを案内するお手伝いでは、メーカーさんの説明がより理解しやすくなるように、装置や放射線に関する説明を、移動や空き時間に挟むなど工夫をした。オープンキャンパスのノウハウを活かすよう努力したが、大人数を相手にした説明にはまた別種の難しさもあり、ぎこちない一面もあったことは今回の反省点である。

訪れた多くのセッションでは、様々な部位の核医学治療がテーマとして取り上げられており、その中にはつい数か月前に認可の下りたものや、治験がちょうど行われているものなどがあり、この分野の勢いを感じた。また、臨床で行うにあたって生じる、線量の管理 (Dosimeter) や放射線廃棄物の扱いなどについてもよく触れられており、今後診療放射線技師が核医学治療の分野で求められる役割について、考えさせられた。

## 5. 現地参加がわかる写真(4枚)

